

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	物理療法学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部 2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	901・機能訓練室
担 当 教 員	川原田 進	実務経験と その関連資格	療養型病床および回復期病床に関するリハビリテーションに7年間従事する。 理学療法士、福祉住環境コーディネーター3級			
《授業科目における学習内容》						
物理療法の総論、各論について理解し、疾患に適した物理療法を考えることができる。物理療法を実際に操作し、適応・禁忌について理解できる。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(80%)、小テスト(10%)、レポート(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野「老年学」第4版:大内尉義(編)、医学書院、2014年						
《授業外における学習方法》						
教科書 物理療法 第2版 監修 千住 秀明						
《履修に当たっての留意点》						
臨床現場では物理療法を用いて治療することが多く、適応や禁忌を学び、適切な治療を行えるようになります。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	物理療法の定義が説明できる。		教科書 配布資料	物理療法の種類を確認 しておく。	
	各コマに おける 授業予定	物理療法学総論				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	ホットパックの適応・禁忌・操作方法が説明できる。		教科書 配布資料	教科書のホットパックの 項目を読んでおく。	
	各コマに おける 授業予定	物理療法学各論(温熱療法概論・ホットパック)				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	パラフィン浴・超音波・極超短波の適応・禁忌・操作方法が説明 できる。		教科書 配布資料	教科書のパラフィン浴・ 超音波・極超短波の項 目を読んでおく。	
	各コマに おける 授業予定	物理療法学各論(パラフィン浴・超短波・極超短波)				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	超音波治療器の準備・設定・操作が行える。		教科書 配布資料	超音波の配布資料を読 んでおく。	
	各コマに おける 授業予定	物理療法学各論(超音波・実技説明)				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	温熱療法機器の準備・設定・操作が行える。		教科書 配布資料	温熱療法の配布資料を読 んでおく。	
	各コマに おける 授業予定	温熱療法の物理療法体験				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	寒冷療法の効果、アイスパックやアイスマッサージの準備・操作ができる。適応や禁忌が説明できる。	教科書 配布資料	教科書の寒冷療法の項目を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	物理療法学各論(寒冷療法概論・アイスパック・アイスマッサージ)		
第7回	授業を通じての到達目標	光線療法の効果、赤外線機器の準備・操作ができる。適応や禁忌が説明できる。	教科書 配布資料	教科書の光線療法の項目を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	物理療法学各論(光線療法概論・赤外線)		
第8回	授業を通じての到達目標	紫外線・レーザー機器の準備・操作ができる。適応や禁忌が説明できる。	教科書 配布資料	教科書の光線療法の項目を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	物理療法学各論(紫外線・レーザー)		
第9回	授業を通じての到達目標	水治療法の効果、水治療法概論・過流浴・気泡浴の適応や禁忌が説明できる。	教科書 配布資料	教科書の水治療法の項目を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	物理療法学各論(水治療法概論・過流浴・気泡浴・ハバードタンク)		
第10回	授業を通じての到達目標	寒冷療法・光線療法の機器の準備や操作ができる。	教科書 配布資料	寒冷療法・光線療法の配布資料を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	物理機器の実施体験		
第11回	授業を通じての到達目標	電気刺激療法の効果が説明できる。適応・禁忌が説明できる。	教科書 配布資料	教科書の電気刺激療法の項目を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	電気刺激療法(電気刺激療法概論・治療的電気刺激法)		
第12回	授業を通じての到達目標	経皮的末梢神経電気刺激法・干渉波電気刺激療法の機器の準備・操作ができる。	教科書 配布資料	寒冷療法の配布資料を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	電気刺激療法(治療的電気刺激法/経皮的末梢神経電気刺激法・干渉波電気刺激療法)		
第13回	授業を通じての到達目標	牽引療法の効果が説明できる。適応・禁忌が説明できる。	教科書 配布資料	教科書の牽引療法の項目を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	牽引療法(牽引療法概論・頸椎・腰椎牽引療法)		
第14回	授業を通じての到達目標	頸椎牽引・腰椎牽引の機器の準備・操作ができる。	教科書 配布資料	牽引療法の配布資料を読んでおく。
	各コマにおける授業予定	牽引療法(牽引療法概論・頸椎・腰椎牽引療法)		
第15回	授業を通じての到達目標	最新の物理療法機器に触れ体験する。	教科書 配布資料	配布するパンフレットを読んでおく。
	各コマにおける授業予定	物理療法機器の実施体験		